

伊勢・三河湾貧酸素情報（R5-2号）

令和5年6月21日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和5年6月19日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

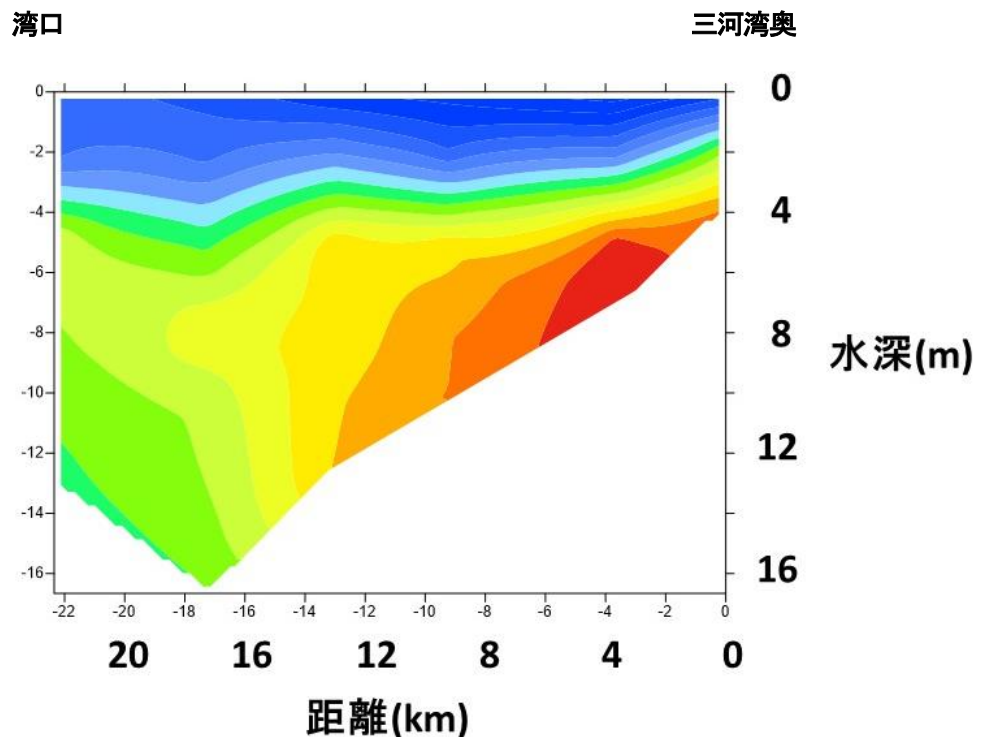
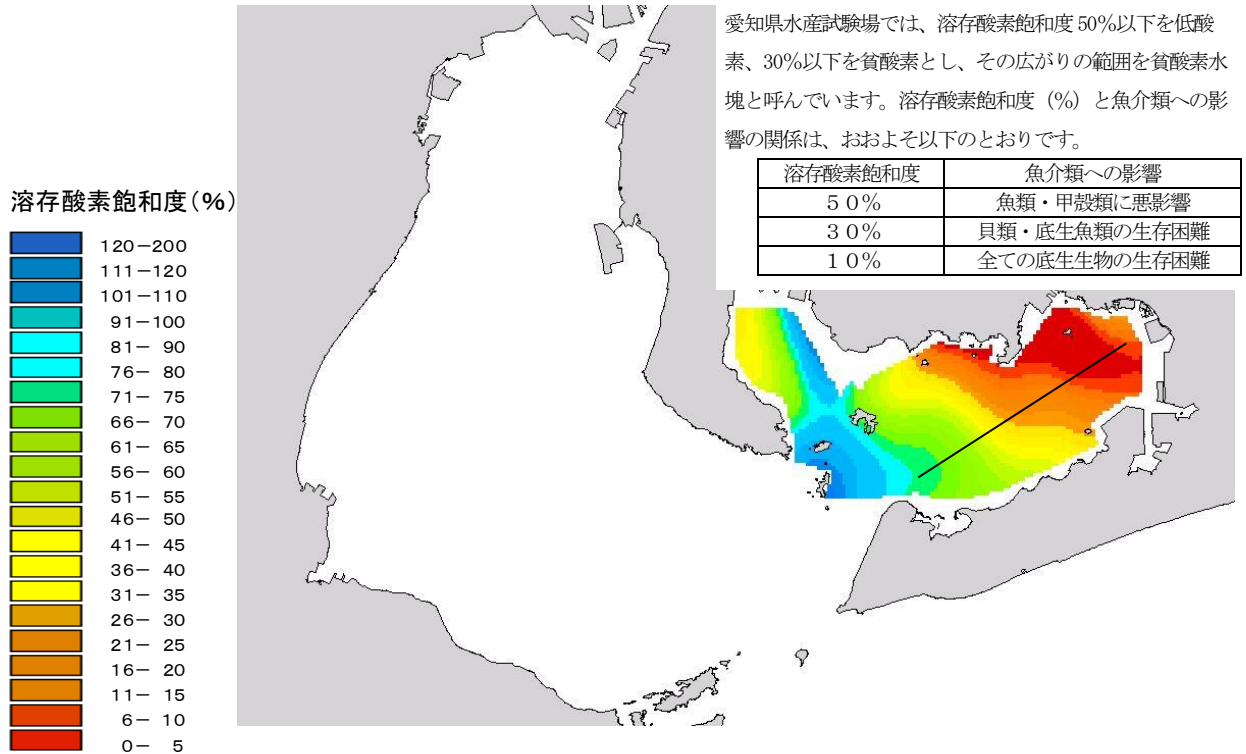


図1 三河湾（6月19日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）
（愛知県「へいわ」調査）

三河湾

6月19日の調査結果を図1に示しました。渥美湾の湾奥部で貧酸素水塊が確認されました。鉛直分布図を見ると、渥美湾の湾奥部の底層で、貧酸素水塊が海底から約4m以深まで発達していました。また、三河湾海況自動観測ブイ（1号ブイ・蒲郡沖）のデータをみると、6月16日に7~9m/sの北西の風が吹いており、その影響で表層から中層にかけて海水が鉛直混合したものの、底層までは鉛直混合がされなかったため、貧酸素水塊の解消には至りませんでした。

今後は表層の水温上昇に伴う成層の発達によって、貧酸素水塊が拡大していくと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	23.5~25.9	19.7~27.0
底層	18.9~22.7	28.1~33.0

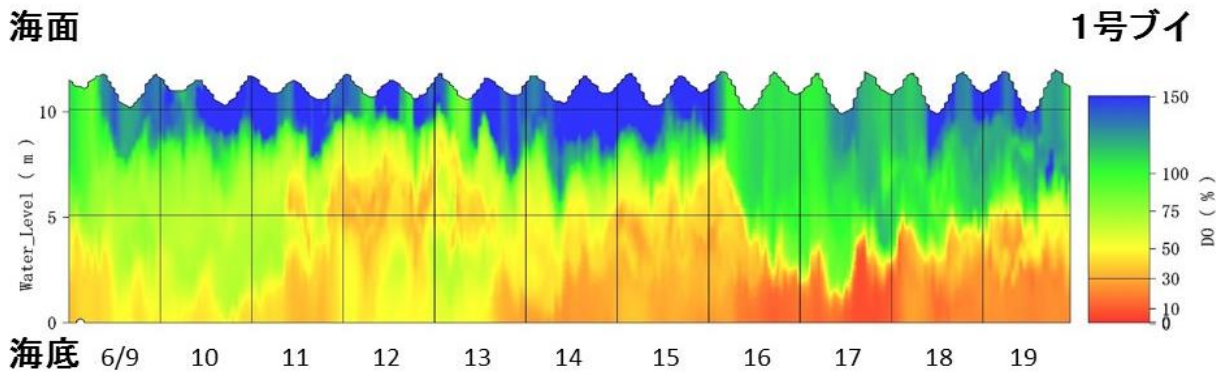


図2 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (三河湾海況自動観測ブイ、1号ブイ)

参考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

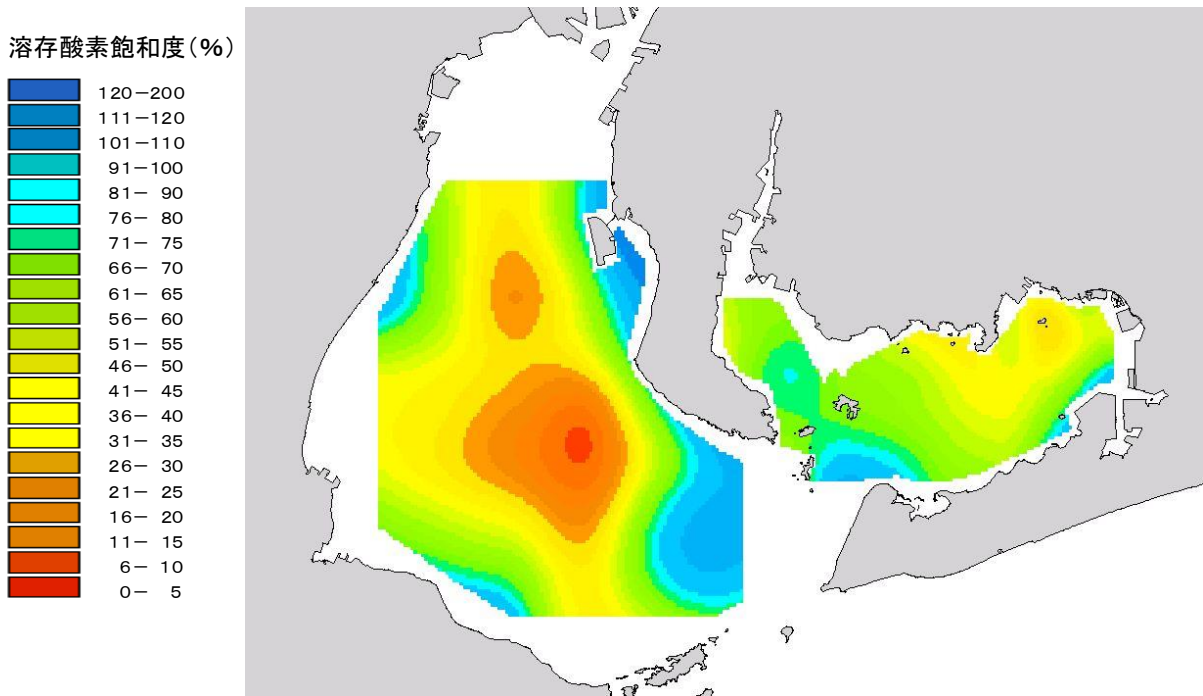


図3 令和5年6月7、8日 (伊勢湾)、6月6、7日 (三河湾)